



【監修】

坂崎 清歌(さかざき きよか) 先生

- 猫との新しい暮らし方(飼い方)を提案する『Happy Cat』代表
- 著書:『猫との暮らしが変わる遊びのレシピ-楽しく仲良く役に立つ科学的トレーニング』誠文堂新光社
- web猫がくしゅう塾参加者募集中!
(詳細はHPへ <https://happycat222.com/>)

Happy Cat

練習を始める前に

まずは「いい子」トレーニングをしましょう。(チャージング)

猫にとって「いい子」=「オヤツが出てくる合図」になってもらうことが第一歩です。

「いい子」という音で「正解!ご褒美だよ」を伝えるためには、まず、猫が何をしている時でも構わないので、「いい子」と声をかけて即座に猫が好きな食べ物(ご褒美)をあげます。これを何度もすることによって「いい子」=「美味しい」(ご褒美が出てくる合図)になります。

「頑張らせてごめんね」のお詫びがオヤツではありません。猫と飼い主と一緒に「正解」にたどり着けたご褒美がオヤツです。

*チャージングは、トレーニング開始前に、いつも数回実施しましょう。

「いい子」という音で「正解!ご褒美だよ」を伝えるルールにする場合、「いい子」と言ったら必ずご褒美をあげる必要があります。

「そう!」をもっと短くして「そっ!」などの音や、普段は使わない音や舌鼓の音を【トレーニング専用の正解音】にしてもらうのもいいです。言葉を使う場合、出来るだけ同じ調子で言ったほうがいいでしょう。

『同じ音』という意識を持って「いい子」を発音します。できたら「そっ!」のような短い音の方がより猫に伝わりやすいです。

(一般にトレーニングでクリッカーという道具が使用されるのは、普段は聞こえない、トレーニング専用の「正解音」であり、動物が混乱しないからです)

ペットの声をきこう。



ペットの健康と向き合うウェブサイト

<https://petsvoice.jp/arthritis>

QRコードを読み込み
スマホで簡単アクセス



ベーリンガーインゲルハイム
アニマルヘルス ジャパン(株)

〒141-6017 東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower

お客様相談窓口 **0120-499-419**

202009

猫ちゃんにお薬を
あげるための

練習

HOW TO TRAINING

方法



練習を始める前に、裏表紙を読んでね!



猫ちゃんに液体のお薬を 飲ませるための練習方法

イラスト提供:いのぼん



1 まずは シリンジの練習!

まずは飼い主さんの練習です。シリンジを押す強さや持ち方に慣れておくと、いざ投薬時に緊張せず自然な動きになるので、猫も緊張しにくくなります。

Point シリンジの操作を練習しておく、投薬だけでなく猫にお水を飲んでほしい時や皮膚滴下剤の投与など、いろいろな場面で役に立ちますよ!

2 飼い主の体の脇で あごにそっと手を添える

猫は強くおさえこまれるのが嫌いです。体と腕、あごの下に添えた手で猫をやさしく包んであげましょう。この形ができたらすぐに『いい子』と言ってご褒美をあげましょう。



3 あごに手を添えるときは、 顔を軽くはさむように やさしく包む

最初は下向きもしくは水平から、毎回少しずつあごに添えた手で頭の角度をあげていきます。45°くらいを5秒ほどキープできるように目指します。毎回『いい子』とご褒美はセットです。



4 犬歯の後ろの すき間に シリンジの先を入れる

最初は何も液体は入れず、シリンジだけを犬歯の後ろに近づけて、すぐにご褒美をあげましょう。何回か繰り返し、大丈夫になったら、好きな味のスープを使って1滴分ほど、実際に飲ませてみます。

5 好きな味のスープを ゆっくり飲ませる

毎回少しずつシリンジに入れるスープの量を増やしていき、2mLくらい飲めるようになるを目指しましょう。猫をおさえこまず、猫が好きな味のスープで練習するのが大切です。飲んでくれたら、『いい子』&ご褒美です。



6 毎回少しずつ、 嫌がられないレベルを 練習しましょう!

猫が、『飼い主さんからシリンジで液体がもらえるときは美味しいものだ』と思えるように、猫に無理なく練習しましょう。毎回『いい子』&ご褒美を忘れずに!

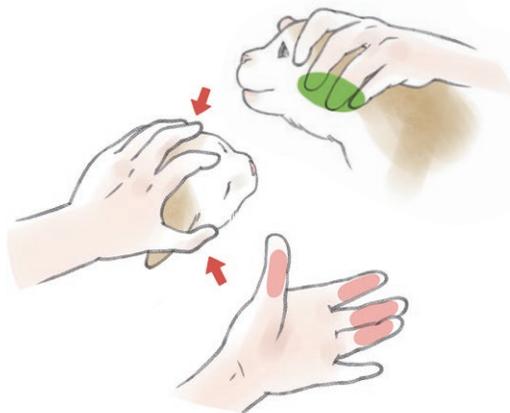
猫ちゃんに錠剤のお薬を 飲ませるための練習方法

イラスト提供:いのぼん



1 まずは投薬時の 頭のおさえかたを イメージしましょう

投薬時は親指と、人差し指～薬指を使って猫の頭をつかみます。うちの子の頭だとどんな感じになるか、頭に手を添えてイメージをつかみましょう。まだぎゅっとつかまないのでくださいね。



2 まずは 密着ナデナデから!

手のひら全体を使って猫の耳を倒すくらい頭を包み込むように撫でて、すぐにご褒美をあげましょう。それに慣れたら、親指と人差し指～薬指を使って頭を包み込むように撫でます。そしてご褒美です。まずはこれを何度も繰り返します。

3 密着ナデナデの延長で 顔を上に向ける

錠剤を投与するときは猫に真上を向いてもらう必要があります。密着ナデナデの延長で、毎回少しずつ角度を大きくしながら、猫が『上を向いても大丈夫』となるように練習しましょう。顔に角度をつけるたびに『いい子』と言ってご褒美をあげてくださいね。



4 上を向けるようになったら 口を開ける練習

猫が上を向いていると下あごを指で押し下げるだけで口が開きます。いきなり大きく開けないで、ちょっと下あごに触るくらいのところから、口をしっかりと開けるところまで、猫にとって『大丈夫』の回数を重ねて猫に慣れてもらいましょう。毎回『いい子』&ご褒美は忘れずに!



最終的には粒を猫の口の中に入れるので、親指と人差し指でドライフードを1粒持った状態で練習してみましょう。その1粒をご褒美にあげてもOKです。

5 ドライフードで 口の中に粒を 入れる練習

口を開いてくれるようになったら、舌の付け根のあたりにドライフードを1粒落とします。猫が好きな味のものを使いましょう。舌の上に粒が落ちてしまっても美味しくければ猫の負担になりませんね。



6 上手く 飲み込めるように のどをなでる

舌の付け根に粒が落とせたら、頭やのどをやさしくなでてあげましょう。
※錠剤は、そのままでは猫の胃に届きにくいのでお水を飲ませてあげると良いです。(液剤の飲ませかた参照)



7 飲めたら ご褒美を!

ドライフードでの練習の時から必ず『いい子』と言ってご褒美をあげてください。飼い主さんに口を開けられて粒を飲まれるのは美味しいことと覚えてもらいましょう。



猫ちゃんに皮膚滴下タイプのお薬をつけるための練習方法

イラスト提供:いのぼん



1 実際にお薬を投与する場所を触れるか確認

ご飯を食べている時などに後頭部から首にかけてを触って毛を分けてみましょう。このように触られるときに嫌がるそぶりがある子は、特に丁寧に、触る⇒『いい子』&ご褒美と繰り返すところから始めましょう。



指で触って、『いい子』、ご褒美

お薬を投与する部分を指でチョンと触って、同時に『いい子』と声をかけて、ご褒美をあげることを繰り返し、投与部位に触られることに慣れてもらいます。



2 毛を分けたところにシリンジの先端を当てる

お薬を投与する場所に、シリンジの先端を当ててみて、『いい子』と言ってご褒美をあげます。



3 少しずつ水をたらして練習する

猫に好きなものを食べてもらいながら、水を皮膚にたらしていきます。シリンジに水を入れて、1滴分から始めて、毎回少しずつ、最終的に1mL滴下できるように練習していきます。毎回、たらしたら『いい子』&ご褒美を忘れずに。

ちゃんと触るだけ



1ml たらす



数滴たらす



Point

皮膚にシリンジの先端を付けるくらい近づけた状態で滴下すると猫がびっくりしにくいです。シリンジで液体を押し出す練習は、P.1を参照



4 投与部位の毛の分け目を戻す

お薬を投与したときは、投与部位の分けた毛並みをやさしく戻しながら、『いい子』と言ってご褒美をあげましょう。その後、気がまぎれるように、おもちゃなどで遊んであげるのもおすすめです。

皮膚滴下剤は、猫が舐められない場所に投与しましょう。

